



## LIFE IN AMERICA



### NO.11, JUNE, 2018

龍野北高校の皆さん、こんにちは。こちらは2学期制で、今が卒業の時期となります。レドモンド高校でも18日に卒業式が行われました。そこで、今回はアメリカの卒業式についてレポートしたいと思います。

アメリカでは卒業式に通常、下級生は参加しません。卒業式の前日にムーブアップアセンブリという学年が上がることを祝う集会があり、そこで下級生は上級生に別れを告げ、9月からは学年が上がる意識を高めます。卒業式自体は体育館ではなく、校庭か、レドモンド高校のような規模が大きい高校では学校外の別の会場を借りてそこで行われます。参加するのは卒業生とその家族、教員だけです。

日本では、卒業生入場→開式のことば→国歌・校歌斉唱→卒業証書授与→学校長式辞の後、来賓の祝辞、在校生送辞、卒業生答辞などが粛々と続きますね。アメリカでも入場してから国家斉唱はありますが、校歌は歌いません。代わりに合唱部が式にふさわしい歌を歌ったり、吹奏楽部が演奏したりします。その他、それぞれの科目で優秀だった生徒への表彰や校長先生、在校生からのスピーチがあります。生徒からのスピーチはジョークも混ざっているものが多く、形式ばっていませんが、先生方、親たちへの賞賛、尊敬、感謝を思いがこもっています。



その後、卒業証書授与は一人ひとり名前が呼ばれるのは同じですが、日本（龍野北高校）では名前を呼ばれた後（なるべく大きな声で）返事をして立ち上がり、後で証書を受け取るのに対して、アメリカ（レドモンド高校）では立って壇上まで証書をもらいに行ってまた自分の席に帰ってくるという流れです。名前が呼ばれたときに家族や友達から声援があったり、証書を受け取ってから壇上でポーズを取ったりすることも多いです。

卒業式のクライマックスは、かぶっている帽子のタッセルを右から左に移動させ（卒業した印）、上に投げるハットスです。これで卒業式は終了、学校の敷地でパーティーがある学校もありますし、最近では卒業生はバスで別の場所に移動し、パーティーをする学校も多いようです（レドモンド高校の場合、行き先は到着するまで秘密だそうです！）。

さて、これまで11回この通信を書かせていただきましたが、今回が最終号です。読んでくれた人、ありがとう。この機会を得られたことに心から感謝しています。夏休み明けに学校で会いましょう！

